

毎号リレー形式で江田島市内で活躍する人やお店を紹介!

次の世代へ『感謝』を  
伝え続けられる場所に。

ETAJIMA  
**GoON!**  
エタジマゴーオン

Vol.20



能美町・中町 シーズ  
バスケットボールクラブ CISE

能美町にある施設を中心に活動する、小中学生のバスケットボールクラブ・CISE(シーズン)。週末の夜、子どもたちと一緒に走り、声を出し、汗を流しているのが、クラブの代表を務める大野潤さんだ。仕事と両立しながらコーチを務める大野さんが子どもたちに伝えたいこと、期待するCISEの未来とは。

『考動』の大切さを  
みんなで一緒に学んで

江田島市を拠点に活動するバスケットボールクラブ・CISE。平日は溶接業を仕事に、週末はCISE中学生の部代表として、子どもたちにバスケットボールの指導を行っているのが、今回インタビューをさせてもらった大野潤さんだ。CISEは大きく分けて小学生と中学生の2団体があり、在団する子どもたちの多くは、それぞれ通う学校でテニス部や陸上部など、違う部活に所属しながらバスケットをしている。

「練習は能美中学校で毎週末の17時から20時まで。ミニバスから続けている子どももいます。彼らは、途中から参加している子どももいます。彼らは、次の日朝早くから学校もあるのに、いつも頑張っている練習していますよ!」と優しい眼差しで話をしてくれる大野さんは、実は昔からバスケットをやっていたわけではなく、本格的に始めたのはCISEのコーチになってからだという。「CISEに自分の子どもが入団したので毎日練習を見に行っていたら、当時の代表の方にコーチをやってみませんか?というお声がけを頂いたんです。そこからですよ、性根を入れて勉強し始めたのは。20歳くらいから、見よう見まねでバスケットはしてましたけど、細かいルールも知らないし、ポジションの名前とか、基本的なことも分かりませんでした(笑)」。そんな大野さんがなぜコーチになったのか。それは、当時の代表から教えられたクラブの方針に共感したからだだったという。「CISEはバスケットだけを教えるクラブではなく『感謝』を教えているクラブ。横断幕にも書かれているのですが、『考動(こうどう)』を大人も子どもも一緒に学んで

で教え合う、そんな場所なんです」

バスケットができることも、普段の生活も当たり前なことではない。よく考えたら、周りには感謝すべきことがたくさんあるんだということを、クラブの活動を通して子どもたちに伝えていく。「話を聞いた時、バスケットのコーチというよりも、子どもの育成につながる活動ができることに感動したんですよ。僕自身、コーチになってからバスケットを子どもたちと一緒に勉強してきました。だから、コーチという立場ではあります子どもたちにも、いつも感謝しているんですよ。バスケットを勉強させてくれて、コーチと一緒にバスケットをさせてくれてありがとうって」

送迎をしてくれる保護者の人がいないと練習に行けない子どももいる。地域の人が協力してくれるから体育館という練習場所がある。お父さん・お母さんが一生懸命働いてくれるからシューズを履けている...こうした小さなことにも感謝して『今、自分ができていることを考えて動く』ということを、クラブの活動を通して伝えていくCISE。「バスケットの練習はもちろんですが、たくさんの人と関わることで、周りにたくさんある感謝すべきことを知ってほしい、という思いを持って僕たちは活動しています」

島の子どもたちが輝く  
大切な場所・CISE

クラブ名は、Children/Important place/Sparkle/Etajimaの頭文字を取ったもの。『島の子どもたちが輝く大切な場所』という意味だ。現在、中学生の部は一人が在団中、高校生が大人が対戦相手となって練習をしてい

る。「実力がどれくらいなのか体感させてあげたいのですが、中学生同士で対戦するのは、人数のこともあって島では難しいんです。それでも今、全国的にクラブチームでも中体連に出れるようなシステムに移行し始めているという話を耳にして、できることをみんなで頑張ってみようと思います。もし中体連に出れるようになったら、部活動との併用は厳しいので、子どもたちには厳しい選択をせざるを得ないことになるのですが、僕は一生懸命練習を頑張ってきた子どもたちを、どうにかして試合に出してあげたいと思っていますね」

中学生同士で対戦できない等、難しい環境であってもいつか自分が教えてきた子どもたちがCISEにコーチとして戻ってきて、次の世代へバスケットを教えてくれたら嬉しいと話す大野さん。「練習を頑張る上手くなるのはもちろん、子どもたちにはCISEでの経験をを通してたくさんの方を学んでほしいです。この活動を通して気づいた『感謝』の気持ちも、今度は教えている子どもたちが次の世代に伝えてくれたら...こんなに嬉しいことはないですよ!僕以外にもコーチやアシスタントとして毎回指導に来てくれる方もいます。みんな仕事で忙しい中、子どもたちと一緒に頑張っているの、少しでも多くの人にCISEの存在を知ってもらえればと思います」

後日、大野さんからクラブチームでも中体連に出れることになったという嬉しい知らせが入った。「動くのが思ったより早かったですね(笑)!!」なんて大野さんは笑っていたが、インタビューを通して知った活動への思いやCISEのことを考えると、心底喜んでいるのだらうと、私までとても嬉しくなった。

CISE バスケットボールスポーツ少年団

<中学生の部>  
毎週末・能美中学校体育館にて練習しています  
■日曜日 17時~20時/男子バスケット  
■日曜日 17時~20時/女子バスケット  
CISEに関するご質問・お問い合わせはこちら ☎ 080-5555-2382(担当:岩本)

<小学生の部>  
江田島市スポーツセンターにて活動中  
■第一、第三火曜日・金曜日・土曜日/男子バスケット  
■第二、第四火曜日・金曜日・第一、第三土曜日/女子バスケット  
お問い合わせはこちら  
▶ cisesportsboyscouts@outlook.com / 男子バスケット  
▶ slamcisedunk@yahoo.co.jp / 女子バスケット

ぜひお気軽にお問い合わせください!



INFORMATION

Children Important place Sparkle Etajima